

第31回未来医療セミナー

「in situ Tissue Engineering の臨床応用」

京都大学再生医科学研究所
臓器再建応用分野・准教授

中村 達雄 先生

《要旨》

近年注目されている in situ Tissue Engineering はいわば「生体内組織再生術」であり、欠損した組織をその場 (in situ) で再生させる手法である。培養室の培養ボトルの中で組織を作る従来の Tissue Engineering と区別するため、この新しい手法は in situ Tissue Engineering と呼ばれている。これをもちいると培養による組織作成の術前準備が不要である。現在、すでに末梢神経、気管、軟組織などがこの手法で臨床で治療されている。本講演ではこのような in situ Tissue Engineering 臨床応用を概観し、さらに今後の問題点と発展について述べてみたい。

日 時 : 2007年7月25日(水) 18:00より

場 所 : 大阪大学医学部附属病院外来棟4階 第1カンファレンス室

連絡先 : 未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel: 06-6879-6557/6552, Fax: 06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

協 賛 : 21世紀COE「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

-Center for Integrated Cell and Tissue Regulation-